



tv asahi welfare foundation

こころの^{年報}樹

事業報告 2012年度（平成24年度）



社会福祉法人
テレビ朝日福祉文化事業団

命の重さと
命の儚さと
命の大切さと…。

優しさと思いやりと勇気と
みんなの中に育つ
こころの樹に
若葉が茂り、幹が太くなりますように。

ともに生きることができる
ハートウォーミングな社会を目指し
私たちは、活動しています。



【略語解説】

(福)	社会福祉法人
(特非)	特別非営利活動法人
(公財)	公益財団法人
(財)	財団法人
(社)	社団法人
(株)	株式会社

はじめに

2011年3月11日に発生しました東日本大震災から2年が経ち、現在もなお復旧・復興作業が継続している中、いまだ避難生活を余儀なくされている多くの皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。

2012年は、日本にとって「景気回復・経済成長」、「増税問題」、「被災地復興」、「原発とエネルギー問題」、「外交・安全保障」、「領土問題」、「TPP参加判断」、「年金・介護問題」、「沖縄基地問題」などの課題を抱えた年でした。3年前に国民の期待を担って政権交代を果たした民主党政権でしたが、課題解決の道筋をつけられないまま、野田内閣は11月衆議院を解散、総選挙に踏み切りました。その結果、与党第一党であった民主党は230から57に議席を減らしました。一方、野党だった自民党は118から294に議席を大幅に増やし、12月には第二次安倍内閣がスタートしました。

また、9月には日本政府が沖縄県の尖閣諸島を国有化したことに対し、領有権を主張する中国と日中関係が悪化しました。中国国内では反日デモが一部暴徒化し、トヨタ自動車やホンダの販売店やパナソニックの電子部品工場、総合スーパーのイオンなどの日系企業が次々と襲われ、破壊や略奪行為があり、日本経済にマイナス影響となりました。

こうした中、2月29日には自立式鉄塔としては世界一となる高さ634mの電波塔「東京スカイツリー」が竣工し、5月22日に開業しました。8月1日には、開業72日目で来場者が100万人を超えました。また、3月31日には、東日本大震災の影響で8ヶ月間延長されていた岩手県・宮城県・福島県の地上アナログ放送が終了し、全国で完全デジタル化が完了しました。その結果、アナログ放送が完全廃止され、約60年の歴史に幕を閉じました。

そして、7月27日から8月12日まで、第30回オリンピック競技大会が、ロンドンで開催されました。204の国と地域から約11,000人が参加。日本は26の競技、302の種目に出場し、金7個・銀14個・銅17個の合計38個のメダルを獲得し大活躍しました。ここで注目されたのが、女子レスリングの吉田沙保里選手です。世界選手権10連覇と3回のオリンピック優勝、合わせて13の世界大会連続優勝という前人未達の記録を樹立し、11月7日には国民栄誉賞が首相官邸で授与されました。また、同じロンドンで、8月29日から9月9日まで第14回夏季パラリンピックが開催され、20の競技、503種目に164の国と地域から約4,280人の選手が参加しました。障がい者を克服して参加し、実力を発揮する中、当事業団が支援しています障がい者スポーツの選手たちも大いに活躍しました。更に、10月8日には、京都大学の山中伸弥教授が、iPS細胞（人工多能性幹細胞）の開発に世界で初めて成功したことによって、ノーベル医学・生理学賞を受賞しました。日本人としては19人目となります。さまざまな細胞を人工的に作り出し、病気やけがで損傷した臓器などに移植し治療する再生医療の実現に向け、新たな時代の扉を開けることとなりました。また、その功績により、山中伸弥教授は2012年の文化勲章を受章しました。2013年1月23日には京都大学iPS細胞特別プロジェクトの研究グループが、ヒトのiPS細胞から腎臓組織の一部を作り出すことに世界で初めて成功し、腎臓再生への大きな一歩を踏み出しました。

年末恒例の流行語大賞にはピン芸人・すぎちゃんの「ワイルドだろお」が選ばれ、2012年の漢字一文字は「金」が選ばれました。

テレビ朝日福祉文化事業団は、テレビ朝日グループ各社や関係先の皆様と共に「こころ」を一つにして、「優しさと思いやり」が多くのみなさんの心の中に根づき、大きく育つことを願っております。「児童福祉・障がい者福祉・高齢者福祉」などに寄与し、楽しく元氣よく共生してゆける社会となりますよう、更なる活動に邁進する所存であります。今後とも、一層のご支援とご協力をお願いいたします。

.....

★社会福祉法人 テレビ朝日福祉文化事業団は、1977年NETからテレビ朝日への社名変更を機に、より幅広い社会福祉活動を目指して設立されました。1951年に施行されました社会福祉事業法に基づく第2種社会福祉法人として申請・認可されたもので、社会福祉事業活動を通じて社会福祉全般の増進にあたることを目的としています。

特集 ▶ Pick up ①

★ Tulevan Concerto vol.4

共催

このコンサートは、障がい克服して音楽の道を究めているアーティストの方々に支援しています。そして、音楽家を目指す若きチャレンジド(積極的な社会進出を目指す障がい者)が夢や希望を持って、その才能を遺憾なく発揮させる世界を実現するための“場”づくりと共に、その演奏を通して“チャレンジする”ことの素晴らしさを全ての皆さまと共有するのを目的として開催し、今年で4回目となります。

当日は爽やかな秋晴れに恵まれ、素晴らしいコンサートになりました。視覚障がいや身体障がいをお持ちの方々が多く鑑賞され、また健常者の皆さまにも多数ご来場頂きました。後述の通り皆さまから感想・感謝のお言葉を多数頂戴しております。ご来場の皆さまは、心豊かに満足してお帰りになられたことと思います。

スペシャルゲストとしてお迎え致しましたヴァイオリニストの川島成道さんによる繊細で美しい音色は、多くの観衆を魅了しました。そして、今回初めてご出演頂きました若手演奏家は、川島さんと同様に視覚障がいをお持ちのお三方で、筑波大学附属視覚特別支援学校非常勤講師でもあるフルート奏者の綱川泰典さん、コンサートの出演やゴスペルクワイアーに所属して演奏活動をしているピアニストの常瑠里子さん、社会福祉法人日本演奏連盟主催「新進演奏家育成プロジェクト オーケストラシリーズ」のオーディションに見事合格しました声楽家の山内さおりさんです。社会人楽団のムジークフェライン室内楽団には、昨年引き続きご出演をお願い致しました。

来年度もこの「トゥレヴァン コンチェルト」を鋭意企画しており、広く福祉活動に貢献していく所存でございます。

日 時：平成 24 年 10 月 13 日(土) 午後 3 時～5 時

会 場：メルパルクホール(港区芝公園)

共 催：東京六本木ライオンズクラブ

東京原宿ライオンズクラブ

テレビ朝日福祉文化事業団

後 援：港区、港区教育委員会、(福)東京都社会福祉協議会

協 力：日本郵政グループ労働組合 東京地方本部

運 営：障がい者芸術家を支援する会



カーテンコールでステージ上に勢揃いした出演者の皆さん

ご来場者様の感想・感謝のお言葉抄録

♥コンサートを全て拝聴できましたことは感無量です。私は1部・2部・3部それぞれ異なった感情が込み上げていました。1部のショパンピアノ演奏早々に涙し、2部のムジークフェライン室内楽団の演奏では元気を貰い、そして3部川島さんのヴァイオリン演奏では何故か孫のことが脳裏をかすめ、将来はヴァイオリン奏者に……等、様々な思いが込み上げてのコンサート鑑賞となりました。ありがとうございました。

♥「トゥレヴァン コンチェルト」のご招待いただき、あり

がとうございました。全体を通してどの曲も親しみやすく、楽しい演奏会でした。特に川島さんの演奏が素晴らしく感動しました。また、会場から駅に向かっていくときにも「新聞広告で、川島さんが載っていたから応募したのよ」と話されているのを聞き、川島さんの人気の高さを感じました。

♥[山内さおり]歌：若さがあり、丁寧に歌われていまして、これからもっと伸びるのではと期待を持ちました。頑張ってください。[綱川泰典]フルート：フルートの音色が繊



繊細な音色とユーモラスなお喋りでファンを魅了する川島成道さん



甘く囁くようなフルートの音色で観客を癒す網川泰典さん



客席の涙を誘うほど、美しい旋律を奏でる常瑠里子さん



透き通った綺麗な歌声で感動を呼ぶ山内さおりさん

＊川島 成道氏（かわばた なりみち）ヴァイオリン

1971 年東京生まれ。

視覚障がいを負った幼少期にヴァイオリンと出会い、音楽の勉強を始める。桐朋学園大学卒業後、英国王立音楽院へ留学し、97 年首席卒業。現在、英国と日本を拠点にソリストとして精力的な演奏活動を展開している。デビュー当初より音楽活動の傍ら、積極的に国内外でチャリティコンサートを行う。

＊網川 泰典氏（つなかわ やすのり）フルート

埼玉県出身。武蔵野音楽大学卒業。「ウィンズ・ソロコンテスト」金賞およびヤマハ賞、「第 6 回ベストプレイヤーズコンテスト」部門優秀賞、「第 10 回日本クラシック音楽コンクール」全国大会入選、「第 1 回ドイツ音楽コンクール」優秀賞、「第 1 回塙保己一賞」奨励賞等受賞。リサイタルやコンサートの企画、全国各地での演奏活動を行う一方、カーネギーホールやウィンザー城での演奏、ダスキン愛の輪研修生として渡欧する等、海外でも活躍。その他 CD 録音、テレビ出演、後進の指導も行っている。筑波大学附属視覚特別支援学校非常勤講師。

＊常 瑠里子氏（つねるりこ）ピアノ

2 歳のときに「はしか」にかかったことが原因で視力を失い視覚障がい者となるが普通高校に通い、関西学院大学総合政策学部総合政策学科を卒業。ピアノは 4 歳から始め高校生になってから、本格的に専門家から指導を仰いだ。ダスキン障害者リーダープログラム個人研修生として、一年間アメリカに留学。2003 年より毎年、数回にわたりピアノコンサートに出演。また、ゴスペルクワイヤーにも所属し、チャリティーコンサートに参加。

＊山内 さおり氏（やまうち さおり）ソプラノ

鹿児島県出身。15 歳より声楽を学ぶ。筑波大学附属盲学校（現、視覚特別支援学校）高等部音楽科卒業、同専攻科修了。後に福岡教育大学教育学部生涯スポーツ芸術課程芸術コース音楽科卒業。大学在学中、第 54 回ヘレンケラー記念音楽コンクール声楽部門、大学一般の部において最高位、3 位入賞（1 位・2 位該当者なし）。卒業後も研鑽を積み、青少年音楽協会主催のチャペルリサイタルに出演。

＊ Musik Verein（ムジークフエライン室内楽団）

2009 年、早稲田大学フィルハーモニー管弦楽団、慶應義塾ワグネル・ソサエティ・オーケストラ両楽団の元コンサートマスター、首席奏者を中心に結成。楽団名の“Musik Verein”は楽友協会の意で、学び舎は違えど 4 年間の大学生活を共にしてきた“学友”が、“楽友”となって一つの音楽を創り上げたいという願いが込められている。それぞれの目標に向かって新たな一歩を踏み出した楽友たちが、一つの音楽のもとに集まりエネルギーで情熱的な演奏を目指して活動を行っている。

細でとても美しく感動いたしました。ここまで到達するまでのご苦労を感じました。川島成道様の演奏は何度聞いても感動です。特にアヴェ・マリアは素晴らしく、心を打たれ、癒されます。

♥（点字のお便り）先日は、トゥレヴァン コンチェルトのチケットをくださり、ありがとうございました。とてもすばらしい演奏で夢中になって聴くことができました…中略…どれもすばらしく 1 つにしぼって感想を書くことはとても難しいのですが、今回の演奏で心に残っている

のは「愛の挨拶」、「G 線上のアリア」、「愛の喜び」です…中略…3 曲とも生演奏で聴くことができ本当に感動しました。私は（筑波大学附属視覚特別支援学校高等部）音楽科で声楽専攻です。山内さんの歌を聴き、私もこのようなきれいな声で歌えるようになり、堂々と歌えるようになりたいと思いました。歌をたくさん歌って練習し、いま出せないような声をいつか出したいと思いました。先日のコンサートは強く心に残りました。チケットをくださり心から感謝いたします…後略…

★高校生海外生活体験の旅 in シアトル

共催

海と緑に囲まれたその美しさから「エメラルドシティ」の愛称を持ち、アメリカの中でも暮らしてみたい憧れの都市・シアトルで「高校生海外生活体験の旅」を開催しました。今年で12回目を迎えるこの企画は、児童養護施設で生活する高校生を対象に海外でのホームステイ体験、飛行機を作るボーイング社工場見学、ボランティアに参加体験などを通して視野を広げ、将来社会人として第一歩を踏み出せるよう支援することを目的としています。今年もたくさんの応募者の中から書類、作文審査、面接審査などを実施して10人の高校生が選抜され、7泊9日のプログラムに参加しました。

今年もシアトル在住のホストファミリー宅に7泊ホームステイしながら、アメリカ人の先生による英語レッスン、その他にマイクロソフト社、世界最新鋭の機種ボーイング787を作るボーイング社工場見学、この夏イチロー選手がニューヨークヤンキースに移籍して話題になったシアトルに本拠地をおくマリナーズの試合をセーフコフィールド球場で観戦、また、マウントレーニエ国立公園でのトレッキング、スーパーマーケットでの買い物、アメリカ西海岸で広大な敷地のワシントン大学訪問、フードバンクでのボランティアなどを体験しました。参加した10人は、平日の昼間はすべてのプログラムを元気にこなしながら、夜はホストファミリーと寝食を共にし、土曜・日曜は終日ホストファミリーのもとで過ごすというスケジュールでした。成田空港から約9時間のフライトでシアトルのタコマ国際空港に到着、入国審査では始めて英語に遭遇しやや緊張してシアトル滞在が始まりました。到着した日には市内観光をし、夕方はそれぞれのホストファミリーとのご対面……！シアトル1日目は飛行機の長旅による時差ボケの中、初めてのホストファミリー宅でのお泊りです。うまくコミュニケーションできるかどうか最も不安な一日だったと思います。参加の高校生はそれぞれ片言英語、ボディランゲージ、辞書、電子翻訳機などを駆使してホストファミリーとの意思疎通に奮闘したようです。日本からの高校生を迎い入れてくださったホストファミリーの方々も緊張をほぐすた



マウントレーニエ国立公園内のリフレクションレイクをバックにハイポーズ！



対岸にシアトル市内を見渡す湖をバックに最高の笑顔！

参加者の感想文から抜粋

◆最初とても緊張していました。初日のパークプレイスマーケットは面白かった。ホストファミリーとも緊張していたけど、音楽好きなので楽器博物館、楽器店に行ったり、バーベキューをしてもらったりで緊張もほぐれました。またテレビのオリンピック観戦は英語で言葉はわからなかったけど、家族と一緒にいる雰囲気がとても居心地がよかったです。ホストファミリーと別れる時には泣けました。

◆エメラルドシティ、イチローのマリナーズ、ボーイン

グ社、マイクロソフト社とシアトルについて調べてとても心ひかれました。中でもスターバックスの1号店に最も心が惹かれました。シアトルに着いて見るもの、聞くもの、ホストファミリーとの生活、一緒に行った仲間と徐々に仲良くなったことすべてが新鮮でした。

◆ホストファミリーとは少し不安もありましたが、滞中にいろんな事を教えてくれ、いろんな所に連れて行って優しく迎えてもらえました。ほんとうに「楽しかったの一言」いまでも思い出すと胸がいっぱいになります。

めにお菓子や、ビデオ・ゲームを用意するなど、工夫を凝らして迎えてくださったようでした。日本からの高校生たちは土曜、日曜は終日ホストファミリーと一緒に過ごし買い物に連れて行ってもらったり、バーベキュー、カヌーなどをしたりして英語にも慣れてコミュニケーションも少しずつ取れるようになり、お互いにメンタル面の距離感が縮まったようです。シアトル7日目、日本に帰る最終日の夜はサヨナラパーティーを開催し、参加した高校生は英語で日本の文化を紹介することにチャレンジしました。シアトルに行く前の日本での研修では、とても自信なさそうな英語の発表も日本にいる時に較べて元気に自信ありげに発表していたのが印象的でした。その他に、ゲームをやったり、最後に「栄光の架橋」をみんなで大合唱してシアトル最後の夜を楽しみました。シアトルから日本に帰る日は、ホストファミリーの皆さんが大勢見送りにきてくださいました。これまでずっと陽気にはしゃいでいた高校生たちも別れの時には何人も目に涙を浮かべていました。

今回のシアトルでの7泊9日間は、参加した10人の高校生にとって楽しいことばかりではなかったかも知れません。ホームステイ先のベッドで1人涙を流していたこともあったかも知れません。今回「高校生海外生活体験の旅」に応募し、書類・作文審査、面接審査にチャレンジし選抜された10人の皆さんは、この旅で日本とアメリカの文化の違いなど多くのことを肌で感じ、体験したと思います。今回の旅が皆さんのこれからの人生を歩んでゆくうえで何か、どこかで役に立っていただければと願っております。

日程：5月7日（月）応募締め切り（作文ほか）
5月20日（日）面接選考、参加者決定
6月17日（日）事前研修説明会、結団式
7月26日（木）～8月3日（金）（シアトル・7泊9日）
10月8日（月・祝日）フォローアップ研修

参加者：高校生10人（男子5人、女子5人）

（東京・神奈川・埼玉・群馬・茨城の10児童養護施設）

共催：（福）東京都社会福祉児童部会、テレビ朝日福祉文化事業団

後援：（公財）原田積善会

海外体験の旅 2012 日程表

7/26（木）	成田発→シアトル（DL156便） シアトル空港着（同日午前着） シアトル観光	【ホームステイ①】
7/27（金）	英語レッスン ワシントン大学・マイクロソフト社見学 チッペンデン水門見学	【ホームステイ②】
7/28（土）	ホストファミリーと一緒に	【ホームステイ③】
7/29（日）	ホストファミリーと一緒に	【ホームステイ④】
7/30（月）	英語レッスン ボーイング工場見学 マリナーズ対トロント・ブルージェイズ戦を観戦	【ホームステイ⑤】
7/31（火）	バイクブレイスマーケットフードバンクでボランティア 英語レッスン	【ホームステイ⑥】
8/1（水）	マウントレーニエへの遠足・トレッキング 『さよならパーティー』開催 ホストファミリーへ英語のご挨拶	【ホームステイ⑦】
8/2（木）	アカデミックセンターからシアトル空港へ向け出発 シアトル空港到着 シアトル→日本（DL155便）	【機内】
8/3（金）	成田空港到着・解散	



♣シアトルの空は広く透き通っていて大きく、自分の住んでる所と繋がっていると思うと不思議な気持ちになります。人の道路も、建物のとても大きかったです。

♣僕がアメリカに行く一つの目的は自分を変えることでした。陽気で明るいアメリカ人のように社交的になりたいと思ってイメージしていました。今回あまり目的は果たせなかったけど、行って学んだことがあります。それはいろんなアジア出身の人がアメリカに住んでることを知りました。自分のホストファミリーは台湾出身の家族

でした。家族の会話で中国語と英語が飛び交っていて面白かったです。アニメやゲームのことで家族の息子たち（20歳と19歳）と仲良くなって、日本から行った仲間より、ホストファミリーと一緒にの方が楽しかったです。ホストファミリーの息子の一人が「僕の部屋で寝ていいよ」といつてくれた事が家族の一員になれたようで最も嬉しかったです。最後に自分がアメリカに行くことを企画、支援してくださった皆さんに深く御礼申し上げます。

児童養護施設児童対象

■ 第6回 演劇ワークショップ「The ADVANCE」

◎主催

児童養護施設で生活する中学生と高校生を対象に、演劇の創作発表活動を通して、「自分の疑問に自分で考えて自分の答えを探す。表現する。自分を他者に伝える。想像力を養う。他人を理解する思考と姿勢を創る。自信をつける」ことをテーマに、ワークショップを開催しました。また、活動発表の場として「子どもキラット！楽演祭」（主催：テレビ朝日福祉文化事業団）に参加しました。

今回のワークショップは、ドラマによる表現教育に基づいて行いました。9月22日から11月18日の発表までの14日間、講師陣は「言葉」「動作」「伝える」「物語」「発声」「見る」「伝わる」「踊る」ほか様々な表現方法を参加者に伝え、参加者は頭を捻り「考え」「想像」し、顔や体を動かしながら「表現」し、自然と力を引き出され身に付けていきました。そして、発表する作品の創作活動を始めました。舞台の上で発表した作品「ODZ 9時空を超える」は、歴史上の人物(偉人)が時代も場所も超えて出会う、3つの物語からなっています。参加者は「自分がなりたい歴史上の人物」を選び一生懸命に調べ、自分の中にあるイメージをどのようにして伝えるか、自分が選んだ偉人だったら、どう考えるだろう、仲間が伝えたいイメージはこれであるかなど盛んにディスカッションし、色々な意見が出てきました。もともと用意された台本はありません。自分たちの言葉が台詞になり台本になりました。踊りながらの掛け声も、笑顔を忘れないことも、良いアイデアはどんどんストーリーに加えていきました。

発表の舞台では、大勢の観客を前に参加者全員、満面の笑顔で自分を発信。自分たちの言葉が台詞になっているので言い間違えても堂々と修正したり、観客を巻き込んだり……。児童にとって、とても有意義なステージになりました。発表を終えて約ひと月後の12月16日、フォローアップを行い今年度のワークショップは終了となりました。

ワークショップを通して、参加者は表現力、想像力、対話力、創造力など元々持っている自分の色々な力を発揮してくれました。その能力を引き出す手助けをしてくださいました講師陣や、児童に機会を与えてくださいました施設関係者の皆様に感謝いたします。

なお、今回の参加者は書類選考のうえ、東京、千葉、埼玉、茨城各都県6施設より、中学1年生から高校2年生までの9名の児童です。講師は、総合監修に太宰久夫氏、演技・表現指導に小森創介氏、下川涼子氏、横山喜和子氏、伴拓也氏、舞踊指導に楠原竜也氏、三森渚氏。参加児童のメンタルサポートとケアは大原岳夫氏(児童養護施設カルテット)、大林雅子氏(児童養護施設至誠学園)、服部環氏(児童養護施設クリスマス・ヴィレッジ)にお願いしました。



発表のstage、皆笑顔！



「言葉のカルタ」つなげてみると…？

★スケジュール

- （通い）** 場 所：テレビ朝日（港区六本木）
 日 時： 9月22日（土）14：00～17：00
 9月29日（土）14：00～17：00
 9月30日（日）13：00～16：00
- （合宿）** 場 所：子どもの国 研修センター（横浜市青葉区）
 日 時：10月6日（土）、7日（日） 1泊2日
- （通い）** 場 所：テレビ朝日（港区六本木）
 日 時：10月14日（日）10：00～17：00
 10月20日（土）14：00～17：00
 10月21日（日）10：00～17：00
 11月 3日（土）10：00～17：00
 11月 4日（日）10：00～17：00
 11月10日（土）10：00～17：00
 11月11日（日）10：00～17：00
 11月17日（土）10：00～17：00
- （発表）** 場 所：「子どもキラット！楽演祭」ニッショーホール（港区虎ノ門）
 期 日：11月18日（日）
- （フォローアップ）**
 場 所：テレビ朝日（港区六本木）
 日 時：12月16日（日） 10：30～



自分たちが調べた結果を書き出してみると…。
こんなことあった!?

★指導・講師

- 総合監修：太宰 久夫〔演出家、(特非)アートインライフ代表、玉川大学芸術学部 教授
 子ども文化地域コーディネーター協会専務理事
 国際児童青少年演劇祭キジムナーフェスタ国際シンポジウム・コーディネーター〕
- 演技表現：小森 創介〔俳優・声優・俳優指導者、演劇集団円所属〕
 下川 涼子〔表現教育講師、(特非)アートインライフ所属〕
 横山喜和子〔表現教育講師、(特非)アートインライフ所属〕
 伴 拓也〔ワークショップ講師、芸術創造グループA Bフライ主宰〕
- ダン ス：楠原 竜也〔振付家・ダンサー、APE主宰〕
 三森 渚〔振付家・ダンサー・子どもミュージカル指導者〕

主催：テレビ朝日福祉文化事業団

後援：神奈川県社会福祉協議会、埼玉県社会福祉協議会、千葉県社会福祉協議会、群馬県社会福祉協議会
 栃木県社会福祉協議会、茨城県社会福祉協議会、東京都社会福祉協議会児童部会 〔すべて(福)〕



注目!! みんな一生懸命



ここに、この台詞入れて…、お話作り中

■第1回子どもキラット！ 楽演祭

共催

児童養護施設で暮らす子どもたちの表現力、積極性、協調性を育むことをテーマに 11 月 18 日、東京・虎ノ門「ニッショーホール」で「第1回子どもキラット！楽演祭」を開催しました。東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県など、12 施設の幼児から高校生と一部施設職員さん約 150 人が出演。合唱、日本舞踊、ヒップホップダンス、創作舞踊、ハンドベル演奏などを熱演しました！

イベントの司会には「高校生海外生活体験の旅」、「演劇ワークショップ」に参加した高校生男子2人がチャレンジしました。このイベントは施設を運営されている方たちからの要望で普段学校のクラブ活動以外に、歌や踊り、楽器演奏などに頑張っている子どもたちの発表の場を設けて欲しいということで実現した企画です。また、「第1回子どもキラット！」は、「演劇ワークショップ」に参加した中学生、高校生の発表の場にもなりました。参加した子どもたちが自分の出番だけでなく、普段あまり交流することのない他の児童養護施設の子どもたちの演技にも熱い視線と拍手を送っていたのがとても印象的でした。

当日は、スペシャル応援ゲストとして藤田恵美さん(元ル・クプル)、金管五重奏団の自由ヶ丘クインテットの皆さんも来場し、素晴らしい歌と演奏を披露してくださいました。会場には、笑顔&元気が溢れていました。

日 時：平成 24 年 11 月 18 日(日) 開演 13 時 30 分

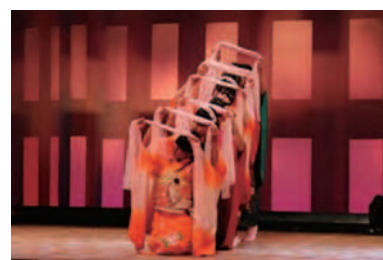
会 場：ニッショーホール(港区虎ノ門)

共 催：(福)東京都社会福祉協議会児童部会、テレビ朝日福祉文化事業団

後 援：(公財)原田積善会

参加施設の関係者アンケート抜粋

- ★子どもたちが真剣取り組めたことは、とても良かったと思います。舞台に立てる機会が持てるからこそ味わうことが出来るのだと実感しました。大勢で一つの事をやることは、苦勞でもあります。練習を積み重ねてゆく過程も子どもたちにとって良い経験になりました。本番ではしっかりやれて子どもたちの勝負強さを感じました。
- ★他の児童施設の出演も楽しめ、これからいろんな施設との交流が広がってゆくことも期待しています。
- ★出演したどの施設の演目も、出演している子どもたちがどの子も真剣にやっている姿を見て普段感じることのない感動を覚えた。
- ★ダンスや演劇ワークショップに出演、チャレンジした子供たちの普段みられない顔がみれて良かった。みんな頑張って、成長しているんだなあと思った。
- ★ゲストの藤田恵美さんの「OMO I Y A R I の詩」の詩も手話も心がこもっていて、爽やかで感動を覚えた。自由ヶ丘クインテットの金管五重奏の曲も楽器紹介も楽しかった。
- ★司会も児童養護施設の高校生がやり、ちょっともたついてたが頑張っていたので応援したくなった。とても親近感をもて楽しかったです。
- ★素晴らしい会場（舞台、照明、音響）で発表の場を持て日々の練習にも張り合いが持て感謝しております。事前の打合せの時から丁寧にいただき、当日も心のこもった案内と対応をしていただき参加者みんなが気持ちよく参加でき、良い思い出になりました。スタッフのみなさんに心より感謝申し上げます。



猛暑の中、江戸っ子杯争奪東京都社会福祉施設競技大会 2012 野球の部が7月25日、26日の2日間、三鷹市大沢総合グラウンドで開催されました。

今年の参加チームは、12チーム(昨年は11チーム)180名の児童で熱戦が繰り広げられました。今回のゲストは、元プロ野球選手で、スポーツコメンテーターとして「モーニングバード」の金曜日に出演中の長嶋一茂さんをお迎えして始球式を行いました。始球式の後には長嶋さんを囲んで、各12チームの施設の児童とそれぞれ記念撮影を行いました。審判団は三鷹市軟式野球連盟の皆さんに全面協力していただきました。2日間の好ゲームの結果、目黒若葉寮が三連覇を達成しました。準優勝は調布学園で、3位 至誠学園、4位 ベトレヘム学園の順となりました。事業団では参加者全員にスポーツタオル、優勝チームに金属バット、他のチームにはグローブ、スポーツバック、シューズバックなどをプレゼントしました。

期 間：平成24年7月25日(水)、26日(木)
場 所：三鷹市大沢総合グラウンド(三鷹市)
参 加 者：児童養護施設の小中学生 約180人
共 催：(福)東京都社会福祉協議会児童部会
テレビ朝日福祉文化事業団
後 援：東京都、(公財)毎日新聞東京社会事業団
(財)報知社会福祉事業団



被虐待児童理解のための職員研修

■児童福祉施設職員のためのワークショップ

共催・助成

「子どもの話を聞く」

「子どもの気持ちを受け止める」

「子どもに気持ちを伝える」…

子どもとのよりよいコミュニケーションを学ぶため、1泊2日の児童福祉施設職員のためのワークショップが開催されました。

現在、児童福祉施設では被虐待児童など、行動上の問題を抱えた児童が増加しています。これらの背景には家族の問題や、地域社会の影響によるところが多く、児童福祉分野に従事するスタッフには、その理解と、より高度で専門的なトレーニングが求められています。

今年も、1980年代から児童虐待、ネグレストの問題に取組み、また日米の子どもと家族の治療に関してこられたDr. 田中万里子先生(サンフランシスコ州立大学名誉教授)をお迎えして開催されました。

期 間：平成24年10月23日(火)～24日(水)
場 所：ザ・クレストホテル立川(立川市)
共 催：(福)至誠学舎立川 児童養護施設至誠学園、テレビ朝日福祉文化事業団

●第 54 回 慈彩会展

🌸 後援・助成

慈彩会は、日ごろ、絵画・書道・工芸などに親しんでおられる人々の作品を、「社会福祉施設に絵を贈る運動」として、1958年(昭和33年)5月に発足し、毎年1回日本橋三越本店において開催してまいりました。今年で54回目を迎え、日本橋三越本店で7月11日より16日まで開催されました。この展覧会には、毎回常陸宮妃殿下も賛助出品をして下さいます。また趣旨に賛同していただいた芸術家も多く参加され、今回は190点余りに及ぶ作品の出展がありました。これまでに贈呈先福祉施設3,460施設、贈呈作品4,934点、助成金は81,707千円となりました。これからも後援を通じて少しでもお役に立てるように取り組んでまいりたいと思っております。

会 期：平成24年7月11日(水)～16日(月)
会 場：日本橋三越本店(中央区)
主 催：慈彩会
後 援：厚生労働省、東京都、(財)日本民生文化協会、
テレビ朝日福祉文化事業団 他



■第 58 回全国里親大会 やまがた大会

🌸 共催・助成

今年の山形における全国大会は、「里親が育む新しい家族の絆」と題して開催されました。未曾有の被害をもたらした昨年3月11日に発生した東日本大震災が、人と人とのつながりや家族の絆を見つめなおす機会となっていることから、あらためて「絆」というものに注目し、里子との絆を育むための里親家庭やファミリーホームにおける生活の営みを見つめ、より良い養育や里親への支援について考える機会となりました。また、今後の児童虐待対策の充実・社会的養護の基盤整備に向けた研修・研鑽の機会でもありました。

期 間：平成24年10月6日(土)～7日(日)
場 所：天童温泉「天童ホテル」(山形県天童市)
共 催：厚生労働省、山形県、(公財)全国里親会、山形県里親会、(福)NHK 厚生文化事業団、
(公財)資生堂社会福祉事業団、テレビ朝日福祉文化事業団 他

●第 58 回関東甲信越静 里親研究協議会 埼玉大会

🌸 後援・助成

期 間：平成24年7月7日(土)～8日(日)
場 所：さいたま市民会館うらわ 大ホール(埼玉県さいたま市)
共 催：埼玉県、(財)全国里親会、関東甲信越静里親研究協議会、(社)埼玉県里親会 他
後 援：(福)埼玉県社会福祉協議会、テレビ朝日福祉文化事業団 他

その他の事業

●こどもの国のお正月行事「ジャンボカルタ取り大会」「どんど焼き」

🌸🌸 後援・助成

毎年恒例となっているこどもの国でのお正月行事、「ジャンボカルタ取り大会」と「どんど焼き」が開催されました。年明けの1月2日・3日の穏やかな日和の中、1メートル四方のジャンボカルタを、子どもたちは元気よく取り合っていました。また、1月13日、晴天の暖かな陽気の中、中央広場に大きなやぐらを組んだどんど焼きは、松飾や書初め、だるまなどを持ち寄り、年女・年男たちによる点火で始まりました。またたく間に空高く舞い上がる炎に参加した人々は手をかざして、今年一年の健康を祈りました。このどんど焼きには、当事業団から焼き芋が助成され、子どもたち300人に手渡されました。

【カルタ取り】

期 間：平成25年1月2日(水)、3日(木)

場 所：こどもの国(横浜市)

【どんど焼き】

日 時：平成25年1月13日(日)

場 所：こどもの国(横浜市)

主 催：(福)こどもの国協会

後 援：テレビ朝日福祉文化事業団



●第62回 社会を明るくする運動「匠に学ぶワークショップ in 東京藝術大学」

🌸🌸 後援名義

日 時：平成24年7月28日(土)

場 所：東京藝術大学上野キャンパス(台東区)

共 催：東京藝術大学、「社会を明るくする運動」中央推進委員会

台東区、台東区保護司会、台東区更生保護女性会 他

後 援：(社)全国保護司会、テレビ朝日福祉文化事業団

●自立援助ホーム「憩いの家」バザー

🌸🌸 後援名義

期 間：平成24年12月20日(木)～25日(火)

場 所：日本橋高島屋(中央区)

主 催：(福)青少年と共に歩む会

後 援：テレビ朝日福祉文化事業団

●日本児童養護実践学会 第5回 研究大会

🌸🌸 後援名義

日 時：平成25年2月9日(土)

場 所：帝京平成大学 池袋キャンパス(豊島区)

主 催：日本児童養護実践学会

後 援：テレビ朝日福祉文化事業団

●第6回「家族週間」子育て童謡コンサート

🌸🌸 後援名義

日 時：平成24年11月14日(水)

場 所：ルネこだいら(東京都小平市)

主 催：ポポロ(日本と世界の愛唱歌をうたう会)

後 援：テレビ朝日福祉文化事業団

■ 高齢者施設訪問

◎ 主催

特別養護老人ホーム、デイサービス、ケアハウスなどの高齢者施設を、プロの歌手が訪問。高齢者の皆さんに、昔懐かしい歌謡曲などを聞いていただき、楽しい時間を過ごしていただく高齢者施設訪問です。

昭和 62 年に施設訪問が始まってから、合計 150 回を数えました。今年は 11 の施設を訪問し、高齢者の皆さんから手拍子や拍手をいただき、大変喜んでいただいております。歌謡曲から民謡まで、高齢者の皆さんが若かりし頃を懐かしみながら、涙あり、笑顔ありの楽しい高齢者施設訪問を行いました。

① 日 時：平成 24 年 4 月 14 日(土)
会 場：ぼっかぽか(埼玉県八潮市)
ゲスト：大津美子(歌手)

② 日 時：平成 24 年 5 月 9 日(水)
会 場：いなぎ苑(稲城市)
ゲスト：原田直之(民謡歌手)

③ 日 時：平成 24 年 6 月 6 日(水)
会 場：箕輪・沼風苑(千葉県柏市)
ゲスト：こまどり姉妹(歌手)

④ 日 時：平成 24 年 6 月 25 日(月)
会 場：クレイン(西東京市)
ゲスト：園まり(歌手)

⑤ 日 時：平成 24 年 8 月 9 日(木)
会 場：清徳苑(目黒区)
ゲスト：恵り香(歌手)

⑥ 日 時：平成 24 年 9 月 21 日(金)
会 場：ローズマリー(日野市)
ゲスト：こまどり姉妹(歌手)

⑦ 日 時：平成 24 年 11 月 7 日(水)
会 場：大森老人ホーム(大田区)
ゲスト：大津美子(歌手)



艶やかな衣装と美しい歌声の大津さん



民謡界の大御所 原田直之さん



歌とおしゃべりでいつも大喝采のこまどり姉妹さん

⑧日 時：平成 24 年 11 月 28 日(水)
会 場：安立園(府中市)
ゲスト：園まり(歌手)

⑨日 時：平成 25 年 2 月 26 日(火)
会 場：けやきの苑(渋谷区)
ゲスト：恵り香(歌手)

⑩日 時：平成 25 年 3 月 6 日(水)
会 場：アトリエ村(豊島区)
ゲスト：原田直之(民謡歌手)

⑪日 時：平成 25 年 3 月 18 日(月)
会 場：菊かおる園(豊島区)
ゲスト：園まり(歌手)



しっとりと優しさ溢れる歌声の園まりさん



会場狭しととても元気な恵り香さん

■けやき坂カルチャー教室

共催

けやき坂カルチャー教室は、高齢者の皆さんに文化活動を通じて楽しみながら生きがいを見つけ、友達作りをしてもらおうと始めました。会場は六本木ヒルズのテレビ朝日にある多目的スペース「umu」で、毎月 1 回、趣味の講座を行っています。

午後 1 時、教室のはじめは手話を学習する時間です。細かな日常会話を手話で表現することはとても具体的に興味深いものです。皆さん身体を動かし、口を動かし楽しいひと時になります。こうした時間は当事業団ならではのもので、障がい者の方への理解を深める一助になればと考え実施しています。

このカルチャー教室の種目は、① 特殊な加工によって生花のように咲き続けるプリザーブドフラワー、② 粘土を捏ねて人形の形を作り、レースと布を飾り付けて焼く、豪華な陶器のレースドール、③ 立体的な額装を作るデコラティブアレンジメント、④ ペンや筆を使い写経など書くことを楽しむ書道、⑤ アクセサリーに最適なアートクレイシルバー、⑥ 皿やグラスに絵付けをするチャイナペイント、⑦ カルトン(厚紙)にお気に入りの布を貼って世界に一つのオリジナル BOX を作成するカルトナーージュの 7 つの講座を開催しています。毎回 40 ～ 50 人が 1 つのスペースで学ぶという一風変わった教室ですが、次は別の講座を受けてみようなどいろいろ楽しむこともできます。また、受講生同士も親しくなり、教室が終わったあとに、お茶を楽しんだり、旅行に出かけたりと交流が深まっているようです。月 1 回の教室ですが、皆さんお互いに刺激を受けながら創作活動に励んでいらっしゃいます。

受講生は現在女性ばかりですが、神奈川、千葉、埼玉からもいらしています。

日 時：平成 24 年度 年 10 回開催(毎月 1 回、8 月と 12 月を除く)

講 座：レースドール、プリザーブドフラワー、書道、アートクレイシルバー、デコラティブアレンジメント、チャイナペイント
チャイナペイント、カルトナーージュ

会 場：テレビ朝日多目的スペース「umu」(港区)

費 用：材料費のみ(講師費用は事業団負担)

受講生：50 ～ 60 人(毎回)

共 催：さわやかグループ、テレビ朝日福祉文化事業団

■第14回 クプナ・フラ・フェスティバル

共催・助成

「クプナ・フラ・フェスティバル」は、高齢者自身が、生きがいを持って元気に、より豊かで潤いのある文化的生活をおくるために開催されています。最近では、フラダンスによる老化防止、ボケ予防の効用が注目を集めており、より人気が高まっています。

この事業は、1999年国際高齢者年を記念して開催したところ、国連をはじめ諸機関から賞賛を得、各方面から開催の要望をうけて今回に到っています。

今回は、22日・23日の2日間で、24組500名の方々が日頃の練習の成果を披露しました。会場も多くの観客のみなさんに集まっていただき、参加されたクプナの方々の中には、80歳を超える方も多く、華やかな衣装で、ハワイアンミュージックの優雅で滑らかな音楽に合わせて舞い、多くの観客のみなさんを魅了していました。

2日間で各組の主宰者の代表者には、
ハワイ州知事から感謝状が贈られました。

期 間：平成24年6月22日(金)、23日(土)
会 場：中野サンプラザホール(中野区)
共 催：クプナ・フラ・フェスティバル運営委員会
(財)日本チャリティ協会
テレビ朝日福祉文化事業団
後 援：東京都、(財)全国老人クラブ連合会
(社)東京都老人クラブ連合会
ハワイ州、ハワイ州観光局



●高齢者への暴力防止プロジェクト助成

後援・助成

～心豊かに安心して暮らすために～

高齢者を暴力、虐待から守るためのあらゆる活動を応援します。

高齢者への暴力、虐待の防止、予防、ケア、教育、啓発に携わる団体、グループ、新たな事業や、地域で活動する高齢者サークル、自治会、町内会、高齢者支援グループ・団体などが行う虐待防止につながる間接的な取り組みをしている事業など、2012年度は全国10団体へ、総額929万円を助成しました。

主 催：朝日新聞社、(福)朝日新聞厚生文化事業団
後 援：厚生労働省、テレビ朝日福祉文化事業団

●ポポロファミリー童謡チャリティコンサート

後援・助成

①期 日：平成24年6月30日(土)
会 場：東大和市民会館(東京都東大和市)ハミングホール
②期 日：平成25年3月1日(金)
会 場：ルネこだいら(東京都小平市)
出 演：山田大輔(テノール)、山田昌子(ソプラノ) 他
主 催：ポポロ(日本と世界の愛唱歌をうたう会)
後 援：テレビ朝日福祉文化事業団

■障がい者施設への設備助成

◎ 助成

当事業団では、資金不足や公的資金援助では充分とはいえない障がい者の皆さんが働く小規模作業所に対し、わずかでも環境改善や作業、事業の効率アップに繋がることを願って施設の運営に必要な器具、設備の助成を行なっています。今年度は26件の応募があり、検討・審査の結果、11件の作業所に対して設備助成を行いました。

平成5年度からこの設備助成を実施し、今年度で20回目になります。今年度の募集期間は2012年4月～6月末日、5年以内に当事業団からの助成を受けた施設は対象外とさせていただき、1事業施設に対して、30万円以内で支援をさせていただきました。今年度「設備助成」を実施した施設は、以下の通りです。

1	業務用冷凍冷蔵庫 1台	パン工房モナモナ	(東京都・東久留米市)
2	ポータブル冷蔵庫 2台	ファンタジア	(東京都・葛飾区)
3	電動アルミ缶圧縮機 1台	工房みどりの風	(東京都・八王子市)
4	ミシン 2台、椅子 20脚、 作業台 6台、棚 1台	ブルースター	(東京都・江東区)
5	ノート型パソコン 2台	たけのこ会	(神奈川県・横須賀市)
6	電動空缶圧縮機 1台	ありんこホーム	(神奈川県・小田原市)
7	電動アシスト自転車 2台	シャロームの家	(神奈川県・横浜市)
8	ラベルプリンター 1台	はあもにい	(千葉県・千葉市)
9	作業台 4台	ねむの里	(千葉県・印旛郡)
10	ガスオーブンレンジ 1台	カフェ・バルコニーの家	(千葉県・千葉市)
11	電動空缶圧縮機 1台	バオバブの木	(埼玉県・所沢市)



業務用冷凍冷蔵庫



ポータブル冷蔵庫



電動アルミ缶圧縮機



棚



ミシン



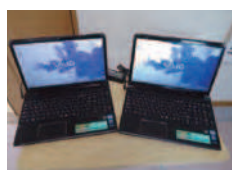
椅子



作業台



電動空缶圧縮機



ノート型パソコン



電動空缶圧縮機



電動アシスト自転車



ラベルプリンター



ガスオーブンレンジ

期 間：平成 24 年 7 月 30 日(月)～8 月 2 日(木) 3 泊 4 日
場 所：HCC(ヒゲッチキャンプグラウンド)(埼玉県児玉郡)
主 催：児童養護施設カルテット 後 援：テレビ朝日福祉文化事業団

●第 35 回 わらじの会 夏合宿

🌸 助成

期 間：平成 24 年 8 月 24 日(金)～26 日(日)
場 所：熱川温泉 国民宿舎伊豆熱川荘(静岡県賀茂郡東伊豆町)
主 催：わらじの会

●血友病患者の子供たちを支援する「むさしの会サマーキャンプ」

🌸 助成

期 間：平成 24 年 7 月 27 日(金)～29 日(日)
場 所：水上温泉「松乃井」(群馬県利根郡みなかみ町)
主 催：むさしの会

■第 35 回 記念車椅子バスケットボール秋季大会

🌸🌸 共催・助成

「第 35 回記念車椅子バスケットボール秋季大会」が、まだまだ暑さが残る 9 月 9 日(日)、神奈川県馬入ふれあい公園ひらつかアリーナで開催されました。本大会は車椅子バスケットボールの底辺拡大とバスケットボールを楽しんでもらうことを目的にしています。

今回は 35 回目の記念大会となり、過去の 34 回に参加した多くのチームや選手が全国大会に出場したり、ロンドンで開催された「2012 パラリンピック大会」に出場し活躍しています。

車椅子バスケットボールは通常のバスケットボールのコートで行われます。車椅子のためダブルドリブルの違反がなかったり、1 チーム 5 人の持ち点(選手の障がいレベルに合わせた点数差)などの例外的なルールはありますが、この試合の醍醐味は、選手の個人の可能性の限界で一人ひとりが頑張っている姿勢にあります。より速く、より巧みに、そして、より正確さを求め、日ごろの努力の成果を発揮するため、選手たちのスピード溢れる車椅子操作での得点や、技術を駆使した全員でのチームプレーは、観戦している人々に感動を与えます。

この試合は、A・B・C のグループに分かれて、A は男子チーム、B は女子チーム、C は健常者チームで行われました。結果は、A チームの優勝が T-ROCKETS、準優勝が DENSO SUNS B.B.C、B チームの優勝が ELFIN、準優勝が Wing、C チームの優勝が ROOTS、準優勝が SEROWS でした。また、チームごとに最優秀選手が、それぞれ表彰されました。テレビ朝日福祉文化事業団からは、それぞれのチームに表彰状と盾・記念品を贈呈いたしました。

日 時：平成 24 年 9 月 9 日(日)
場 所：馬入ふれあい公園ひらつかアリーナ(神奈川県平塚市)
共 催：日本車椅子バスケットボール連盟、テレビ朝日福祉文化事業団
協 力：平塚市社会福祉協議会、平塚バスケットボール協会 他



●第40回記念日本車椅子バスケットボール選手権大会

🌸🌿 後援・助成

期 間：平成24年5月2日(水)～4日(金)

場 所：東京体育館(渋谷区)

共 催：日本車椅子バスケットボール連盟、(公財)日本障害者スポーツ協会

後 援：厚生労働省、文部科学省、東京都、テレビ朝日福祉文化事業団 他

●日本車椅子バスケットボール連盟 第9回 ジュニア選手育成講習会

🌸🌿 後援・助成

期 間：平成24年8月23日(木)～26日(日)

場 所：国立乗鞍青少年交流の家(岐阜県高山市)

主 催：日本車椅子バスケットボール連盟 強化指導部

後 援：テレビ朝日福祉文化事業団

■第36回 ハンディスキー全国親善大会

🏂🌿 共催・助成

この「ハンディスキー全国親善大会」は、身体に障がいがある方と、そうでない方が共にスキーを通じて競い合い、楽しみ合う中で、お互いの理解を深め、肉体的・精神的にも障がいを克服する意欲を養い、潤いのある豊かな生活の向上を目的としています。本年は全国から86名の選手と、地元ボランティア20名が参加。群馬県みなかみ町・宝台樹(ほうだいぎ)スキー場・白樺ゲレンデで熱戦を展開。前日の天気予報では、2月2日の大会当日は雨。しかし気温10度、快晴、無風、春スキーを思わせるような絶好のコンディションとなりました。宝台樹スキー場の自慢はパウダースノー。日本海側からの雪が、谷川岳を越える際、湿気が飛び、パウダースノーになるとか。また、フラットの1枚バーンで、カービング技術を磨くには最適なコース。谷川連峰の絶景が見渡せる、標高920mのスタート地点は斜度25度。平均斜度20度、およそ310mの直線コースで、初級・中級・上級・ゲストメーションに分かれて大回転競技が行われました。レースは、同じコースを2回滑り、タイム差が一番少ない人が優勝となります。

【初級クラス優勝】

工藤 美香(山形) タイム差 0.64秒

【中級クラス優勝】

清水 麗子(群馬) タイム差 0.39秒

【上級クラス優勝】

高橋 照夫(愛知) タイム差 0.03秒

【ゲストメーションクラス優勝】

吉岡 雅裕(岡山) タイム差 0.61秒



ハンディにもめげず、人生を前向きに生きる方々のレースは、多くの人々に大変な感動を与えました。日頃の練習の成果を試し、達成感を味わい、選手同士の旧交を温め、新たな輪を広げるこの大会は、来年の岡山大会へと引き継がれます。



期 間：平成25年2月1日(金)～2日(土)

場 所：群馬県利根郡みなかみ町・宝台樹スキー場

共 催：日本身体障害者スキー協会、テレビ朝日福祉文化事業団

(特非)日本障害者スキー連盟(SAJD)

後 援：みなかみ町教育委員会、みなかみ町社会福祉協議会、群馬県スキー連盟 他

協 賛：(株)ドクターシーラボ 他

●厚生労働大臣杯争奪第 42 回 全国身体障害者スキー大会

🌟🌟 後援・助成

期 間：平成 25 年 2 月 21 日(木)～23 日(土)
場 所：秋田県 仙北市たざわ湖スキー場(秋田県仙北市)
共 催：(公財)日本障害者スポーツ協会 日本身体障害者スキー協会 他
後 援：テレビ朝日福祉文化事業団

●「第 28 回 関東大会」(身体障がい者スキー)

🌟🌟 後援・助成

期 間：平成 25 年 3 月 8 日(金)～10 日(日)
場 所：丸沼高原スキー場(群馬県利根郡片品村)
共 催：日本身体障害者スキー協会 他
後 援：テレビ朝日福祉文化事業団

●第 27 回 全日本視覚障害者柔道大会

🌟🌟 後援・助成

日 時：平成 24 年 11 月 25 日(日)
場 所：講道館(文京区)
主 催：日本視覚障害者柔道連盟
後 援：厚生労働省、全国盲学校長会、テレビ朝日福祉文化事業団 他

●第 16 回 電動車椅子サッカー関東大会

🌟🌟 後援・助成

重度な身体障がいを持つ方たちの団体競技として、1982 年に大阪で考案された電動車椅子サッカーは、通常のバスケットボールコートと同じコートで、直径 32.5cm のボールを 1 チーム 4 人で、競技用に取り付けたフットガードのある車椅子を巧みに操作しながら行うサッカー競技です。4 人の選手のうち 1 人がゴールキーパー、3 人がコート内を時速 6 km で動く車椅子を手・足・口・あごなどでハンドリングしながら、ボールを巧みに操り得点を競います。

関東大会は、関東ブロック所属チームの選手の交流と技術向上および競技の普及を目的に毎年開催されています。今大会は 11 チームが参加、ディビジョン 1 (6 チーム参加) とディビジョン 2 (5 チーム参加) に分かれ、開会式の後に白熱した試合が展開されました。選手とコーチ、ベンチサポーターが一体となって熱戦を繰り広げた結果、ディビジョン 1 は新たに女性メンバーを加えての「レインボー・ソルジャー」(東京都) が優勝。ディビジョン 2 は昨年準優勝の“みんな仲良く、楽しく練習”をモットーに参加した「横浜ソレイユ」(神奈川県) が優勝しました。優勝した 2 チームにはテレビ朝日福祉文化事業団より優勝トロフィーを贈呈いたしました。また、大会関係者の皆さんの懸命な大会運営もさることながら、八千代市内の中学校のサッカー部員の皆さんが、朝から大会運営のアナウンスやコートの清掃を機敏にサポートしていました。中でも印象的だったのは、11 の参加チームに高津中サッカー部など八千代市の中学校のサッカー部員が熱い熱い声援をおくって大会を盛り上げていたことです。

日 時：平成 24 年 9 月 1 日(日)
場 所：八千代市市民体育館(千葉県八千代市)
共 催：関東ブロック電動車椅子サッカー協会、
千葉県電動車椅子サッカー協会、八千代市サッカー協会
後 援：千葉県、千葉県教育委員会、千葉県社会福祉協議会、
テレビ朝日福祉文化事業団 他



●第 37 回 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会

  後援・助成

期 間：平成 24 年 10 月 5 日（金）～ 10 月 7 日（日）
場 所：万博記念公園スポーツ広場、万博記念公園野球場
主 催：全日本ろう社会人軟式野球連盟
後 援：テレビ朝日福祉文化事業団

●第 6 回 全東京ろう社会人軟式野球TDリーグ戦

  後援・助成

日 時：平成 24 年 3 月 25 日（日）、5 月 13 日（日）、6 月 3 日（日）、8 月 19 日（日）、8 月 26 日（日） 全 5 回
場 所：北区新荒川球場、板橋区小豆沢・戸田橋野球場、足立区平野・上沼田東野球場
主 催：全東京ろう社会人軟式野球連盟
後 援：テレビ朝日福祉文化事業団

●第 14 回 ウィルチェアーラグビー日本選手権大会

  後援・助成

期 間：平成 24 年 12 月 14 日（金）～ 16 日（日）
場 所：千葉ポートアリーナ（千葉県千葉市）
主 催：日本ウィルチェアーラグビー連盟
後 援：千葉市、日本パラリンピック委員会、日本障害者スポーツ協会、テレビ朝日福祉文化事業団

●第 28 回 DPI（障害者インターナショナル）日本会議全国集会 in さいたま

  後援・助成

期 間：平成 24 年 6 月 2 日（土）、3 日（日）
場 所：浦和コミュニティセンター（浦和区東高砂町）
主 催：（特非）DPI 日本会議、第 28 回 DPI 日本会議全国集会 in さいたま実行委員会
後 援：内閣府、外務省、厚生労働省、国土交通省、文部科学省
テレビ朝日福祉文化事業団 ほか多数

●第 4 回 は一とふるメッセ実りの集い

  後援・助成

“千葉県内で働く障がい者の仕事に光を当てる！”をモットーに「は一とふるメッセ実りの集い」では、障がい者の働く姿とその成果を広く社会にアピールし、優れた製品と活動に対して「は一とふるメッセ・オブ・ザ・イヤー」の称号を贈っています。3 月 9 日（土）幕張メッセ国際会議場〔コンベンションホール〕にて第 4 回が開催されました。会場には製品の販売や展示などのブースが設置され、エントリーした事業所の関係者を含めて 1,000 名を超える入場者がありました。

製品部門は年々エントリー数が増加し、カテゴリーⅠの“食品”は昨年より 14 点増えて 57 点、カテゴリーⅡの“非食品”は 15 点増えて 58 点となり、目標の合計で 100 点を大きく上回りました。2 月 6 日（水）と 7 日（木）に行われました審査会では、地産地消とエコや斬新さ等々創意工夫に審査員の厳しい目と共に温かい目が注がれました。また、事業所利用者の関わり方も問われ、コンプライアンスの不適合な製品に対する指摘もありました。

その結果、製品部門はカテゴリーⅠの松里福祉作業所「作・作あられ 醤油」が〈テレビ朝日福祉文化事業団大賞〉を受賞しました。優れたコンプライアンスで病院売店や最寄りのスーパー他ですでに販売実績が

あり、そして米製品の発展性と醤油味以外にも風味を工夫する可能性（将来性）が高く評価されました。事業団から賞杯と賞状の他、副賞としてオリジナルサーモコート 5 着とオリジナルトートバック 5 つを贈呈しました。

販売部門の〈千葉ロッテマリーンズ大賞〉は、「ピッツァリアオソロク・石窯パン工房オソロク倶楽部」が、外と内の取り組みを評価されて受賞しました。外の理由「木をふんだんに使った施設が温かく、時間が経過しても古くならない建物のデザイン設計が素敵。また、庭の花を眺めながら、小鳥の声が響いて気持ちよい外のテラスで食べるピザはちょっとした非日常を味わえる」。内の理由「自家製の素材を生かすメニュー、商品が多くあって素晴らしい。また、お客様を受け入れる姿勢が徹底されており、利用者の方が責任を持って生き生きと働いている姿に感銘を受けた。なお、『食べログの千葉県：ピザ部門』では一般店舗を差し置いてランキング 1 位を獲得」しており、千葉県のモデル店舗として相応しい。

その他、両部門でそれぞれ奨励賞と審査員特別賞の授賞がありました。受賞した事業所はいずれもバンザイをして喜びを分かち合い、会場に備えられたカメラへ向かって手を振る利用者の皆さんが正面の大型モニタに写し出されました。事業団からは、受賞の 11 事業所へ各々オリジナルウインドブレーカー 5 着とオリジナルトートバック 5 つを贈呈しました。

当事業団は、この集いのモットーに賛同し、障がいのある人もない人も共に生きる地域社会の実現を目指して毎回後援しています。

日 時：平成 25 年 3 月 9 日（土） 11：00 ～ 16：00

会 場：幕張メッセ国際会議場 コンベンションホール（千葉県千葉市）

共 催：千葉県、千葉県障害者就労事業振興センター

後 援：千葉ロッテマリーンズ、テレビ朝日福祉文化事業団、ほか多数



● Get in touch ! 2012

🌻🌻 後援・助成

自閉症啓発イベント「なんだコレは？なんだキミは？」

期 間：平成 24 年 12 月 3 日（月）～9 日（日）

場 所：テレビ朝日多目的スペース「umu」（港区）

主 催：（社）Get in touch

後 援：Autism Speaks、テレビ朝日福祉文化事業団

その他の障がい者福祉事業・団体への支援

●第 29 回 全国高校生の手話によるスピーチコンテスト

🌸🌸 後援名義

日 時：平成 24 年 8 月 25 日（土）
場 所：東京・有楽町朝日ホール（千代田区）
共 催：全日本ろうあ連盟、朝日新聞社、（福）朝日新聞厚生文化事業団
後 援：厚生労働省、文部科学省、テレビ朝日福祉文化事業団 他

●第 50 回「弘済学園 わたしたちが創る展」

🌸🌸 後援名義

会 期：平成 24 年 12 月 3 日（月）～ 7 日（金）
会 場：JR 東京駅丸の内北口地下 動輪の広場（千代田区）
共 催：（財）鉄道弘済会、（福）東京都社会福祉協議会
後 援：テレビ朝日福祉文化事業団 他
特別協力：（株）石原プロモーション



●第 60 回全国盲人福祉施設大会

🌸🌸 後援名義

期 間：平成 24 年 6 月 21 日（木）～ 22 日（金）
場 所：ホテルグランヴィア和歌山（和歌山県）
主 催：（福）日本盲人社会福祉施設協議会
後 援：厚生労働省、和歌山県、（福）日本盲人福祉委員会、（福）読売光と愛の事業団、
テレビ朝日福祉文化事業団 他

●わんぱくクラブ育成会「もんたよしのリコンサート ♪ブラボー !!!」

🌸🌸 後援名義

日 時：平成 25 年 1 月 26 日（土）
場 所：世田谷区民会館（世田谷区）
主 催：（特非）わんぱくクラブ育成会
後 援：世田谷区、世田谷区教育委員会、世田谷区社会福祉協議会、テレビ朝日福祉文化事業団 他

■プロ野球ヤクルト戦入場券プレゼント

🌸 助成

神宮球場で行われるプロ野球ヤクルト戦の BOX 席の入場券を、（福）東京都社会福祉協議会 東京善意銀行を通じて毎年プレゼントしています。本年度は、精神障害者地域生活支援センターや通所作業所、就労移行支援センター、知的障害者入所更正施設など、東京都内の障害者施設などの 81 施設に、225 枚をプレゼントしました。

その他

●第 61 回 東京都社会福祉大会

🌸🌸 協賛名義

日 時：平成 24 年 12 月 18 日（火）
場 所：東京都庁第一本庁舎 5 階 大会議場
主 催：東京都、（福）東京都社会福祉協議会、（福）東京都共同募金会
協 賛：テレビ朝日福祉文化事業団

こころの樹

tv asahi welfare foundation

2012 Contents

はじめに.....1

● Pick up 特集

第4回 トウレヴァン コンチェルト4

高校生海外生活体験の旅 in シアトル6

● Part 01 児童福祉

第6回 演劇ワークショップ「The ADVANCE」 8

第1回 子どもキラット！ 楽演祭 10

江戸っ子杯争奪東京都児童福祉施設競技大会 2012 野球の部 11

児童福祉施設職員のためのワークショップ..... 11

第54回 慈彩会展 12

第58回 全国里親大会 やまがた大会 12

第58回 関東甲信越静 里親研究協議会 埼玉大会 12

こどもの国のお正月行事「ジャンボカルタ取り大会」「どんど焼き」 13

第62回 社会を明るくする運動「匠に学ぶワークショップ in 東京藝術大学」... 13

自立援助ホーム「憩いの家」バザー 13

日本児童養護実践学会 第5回 研究大会 13

第6回 「家族週間」子育て童謡コンサート 13

● Part 02 高齢者福祉

高齢者施設訪問..... 14

けやき坂カルチャー教室..... 15

第14回 クプナ・フラ・フェスティバル..... 16

高齢者への暴力防止プロジェクト助成..... 16

ポポロファミリー童謡チャリティコンサート..... 16

障がい者福祉 Part 03 ●

障がい者施設への設備助成……………	17
発達障がいを持つ子どもたちのためのキャンプ「チャレンジキャンプ」……	18
第 35 回 わらじの会 夏合宿 ……………	18
血友病患者の子供たちを支援する「むさしの会サマーキャンプ」	18
第 35 回 記念車椅子バスケットボール秋季大会 ……………	18
「東日本大震災」被災地復興支援 内閣総理大臣杯争奪	
第 40 回 記念日本車椅子バスケットボール選手権大会 ……………	19
日本車椅子バスケットボール連盟 第 9 回 ジュニア選手育成講習会 …	19
第 36 回 ハンディスキー全国親善大会 ……………	19
厚生労働大臣杯争奪 第 42 回 全国身体障害者スキー大会 ……………	20
「第 28 回 関東大会」(身体障がい者スキー) ……………	20
第 27 回 全日本視覚障害者柔道大会 ……………	20
第 16 回 電動車椅子サッカー関東大会 ……………	20
第 37 回 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会 ……………	21
第 6 回 全東京ろう社会人軟式野球TDリーグ戦 ……………	21
第 14 回 ウィルチェアーラグビー日本選手権大会 ……………	21
第 28 回 DPI 日本会議全国集会 in さいたま ……………	21
第 4 回 は一とふるメッセ実りの集い ……………	21
Get in touch ! 2012 ……………	22
その他の障がい者福祉事業・団体への支援 ……………	23
プロ野球ヤクルト戦入場券プレゼント……………	23
その他……………	23

その他の事業報告等 Part 04 ●

平成 24 年度 収支報告 ……………	24
平成 24 年度 事業一覧 ……………	25
平成 24 年度 ご寄附いただいたみなさま ……………	26
テレビ朝日福祉文化事業団 役員・評議員……………	27
ご寄附のお願い……………	28

● 平成 24 年度 収支報告

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日 単位：円)

科 目	金 額
収入の部	
寄附金収入	31,640,840
基本財産基金利子収入	0
運用財産基金利子収入	394,601
運用財産利子収入	52,489
当期収入合計 (A)	32,087,930
前期繰越額 (B)	52,449,140
収入合計 (A+B)	84,537,070
支出の部	
児童福祉費	12,343,421
高齢者福祉費	6,241,897
障がい者福祉費	17,234,641
広報費	2,283,998
緊急援護活動支援費	11,950
事務費	1,866,392
人件費	8,493,602
当期支出合計 (C)	48,475,901
当期収支差額 (A-C)	△ 16,387,971
次期繰越額 (A+B - C)	36,061,169

◎平成 24 年度 事業一覧

No.	事業名	対象	名義
1	高校生海外生活体験の旅 in シアトル	児童	共催
2	児童養護施設児童対象の第 6 回 演劇ワークショップ「The ADVANCE」	児童	主催
3	第 1 回 子どもキラット！楽演祭	児童	共催
4	江戸っ子杯争奪東京都児童福祉施設競技大会 2012 野球の部	児童	共催・助成
5	児童福祉施設職員のためのワークショップ	児童	共催・助成
6	第 54 回 慈彩会展	児童	後援・助成
7	第 58 回 全国里親大会 やまがた大会	児童	共催・助成
8	第 58 回 関東甲信越 里親研究協議会埼玉大会	児童	後援・助成
9	こどもの国 ジャンボカルタ取り大会・どんど焼き	児童	後援・助成
10	第 62 回 社会を明るくする運動「匠に学ぶワークショップ in 東京藝術大学」	児童	後援名義
11	「憩いの家」バザー	児童	後援名義
12	日本児童養護実践学会 第 5 回研究大会	児童	後援名義
13	第 6 回「家族週間」子育て童謡コンサート	児童	後援名義
14	高齢者施設訪問（1 年間で 11 施設訪問）	高齢者	主催
15	けやき坂カルチャー教室（年 10 回開催）	高齢者	共催
16	第 14 回 クブナ・フラ・フェスティバル	高齢者	共催・助成
17	高齢者への暴力防止プロジェクト助成	高齢者	後援・助成
18	ポポロファミリー童謡チャリティーコンサート	高齢者	後援・助成
19	第 4 回 トゥレヴァン コンチェルト	障がい者	共催
20	障がい者の小規模作業所等への設備助成	障がい者	助成
21	発達障がいを持つ子どもたちのためのキャンプ「チャレンジキャンプ」	障がい者	後援・助成
22	第 35 回 わらじの会 夏合宿	障がい者	助成
23	血友病患者の子どもたちを支援する「むさしの会サマーキャンプ」	障がい者	助成
24	第 35 回 記念車椅子バスケットボール秋季大会	障がい者	共催・助成
25	「東日本大震災」被災地復興支援 内閣総理大臣杯争奪 第 40 回 記念日本車椅子バスケットボール選手権大会	障がい者	後援・助成
26	日本車椅子バスケットボール連盟第 9 回 ジュニア選手育成講習会	障がい者	後援・助成
27	第 36 回 ハンディスキー全国親善大会	障がい者	共催・助成
28	厚生労働大臣杯争奪 第 42 回 全国身体障害者スキー大会	障がい者	後援・助成
29	「第 28 回 関東大会」（身体障がい者スキー）	障がい者	後援・助成
30	第 27 回 全日本視覚障害者柔道大会	障がい者	後援・助成
31	第 16 回 電動車椅子サッカー関東大会	障がい者	後援・助成
32	第 37 回 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会	障がい者	後援・助成
33	第 6 回 全東京ろう社会人軟式野球 TD リーグ戦	障がい者	後援・助成
34	第 14 回 ウィルチェアラグビー日本選手権大会	障がい者	後援・助成
35	第 28 回 DPI 日本会議全国集会 in さいたま	障がい者	後援・助成
36	第 4 回 はーとふるメッセ実りの集い	障がい者	後援・助成
37	Get in touch! 2012	障がい者	後援・助成
38	第 29 回 全国高校生の手話によるスピーチコンテスト	障がい者	後援名義
39	第 50 回「弘済学園 わたしたちが創る展」	障がい者	後援名義
40	第 60 回 全国盲人福祉施設大会	障がい者	後援名義
41	わんぱくクラブ育成会「もんだよしのリコンサート♪ブラボー!!!」	障がい者	後援名義
42	プロ野球ヤクルト戦入場券プレゼント	障がい者	助成
43	第 61 回 東京都社会福祉大会	福祉事業者	協賛名義

◎ 平成 24 年度 ご寄附いただいたみなさま

企業・団体・個人の皆様からご寄附をいただきました。心から御礼申し上げます。

寄附金合計 31,640,840 円

★一般寄附（敬称略・五十音順）

募金箱 …… 18,940 円（テレビ朝日受付、テレアサショップ、cafe シェマディに設置）

個人 …… 伊藤元彦（元テレビ朝日社長・伊藤邦男氏ご子息）、他

団体 …… 55 団体

アラコム(株)、(株)アンフィニ、(株)伊佐梅、(株)インターナショナルクリエイティブ、(株)大塚商会、
(株)関電工、九州巨人軍愛好会、(株)コマデン、(株)笹谷商事、三建設備工業(株)、(株)サンフォニックス、
(株)シービーエス、城南質屋協同組合、新日本プロレスリング(株)、ダイダン(株)、(株)台東サービス、
(株)竹中工務店、中央ろうきん社会貢献基金、東京総合警備保障(株)、(株)東京美術、東京原宿ライオンズクラブ、東京六本木ライオンズクラブ、東京労働者福祉協議会、(株)テルミック、(株)テレフィット、
西宮神社だるま会、日本歯科衛生協会、日本郵政グループ労働組合東京地方本部、(公財)原田積善会、富士ゼロックス(株)、(株)富士通、フローラ(株)、ポポロ（日本と世界の愛唱歌をうたう会）、
(株)ミヤギ、横浜エレベータ(株)東京支店、リゾートトラスト(株)

(株)テレビ朝日、(株)テレビ朝日アスク、テレビ朝日映像(株)、(株)テレビ朝日クリエイト、(株)テレビ朝日サービス、シンエイ動画(株)、(株)テレビ朝日ベスト、(株)テレビ朝日ミュージック、(株)テイクシステムズ、(株)東京サウンド・プロダクション、(株)トラストネットワーク、(株)日本ケーブルテレビジョン、(株)ビーエス朝日、(株)ビデオ・パック・ニッポン、(株)フレックス、(株)文化工房、(株)放送技術社、
(株)ロッピングライフ、他 1 社

★ 物資などのご協力 1 団体

(株)テレビ朝日

平成 25 年

第 5 回 トゥレヴァン コンチェルトのご案内

今回はスペシャルゲストとして、世界でもご活躍のヴァイオリニスト川島成道氏をお迎えして開催します。今年も障がい者の方々を優先して無料ご招待します。

詳細はホームページをご覧ください。

◆日 時：平成 25 年 10 月 19 日（土） 15 時開演（14 時開場）

◆会 場：メルパルクホール（港区芝公園）

◆出 演：川島成道・澤田理絵・横山隆臣

ムジークフェライン室内楽団



◎ テレビ朝日福祉文化事業団 役員・評議員

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

役 職 名	氏 名	職 業
理事長・評議員	君和田 正夫	株式会社テレビ朝日 相談役
副理事長・評議員	早河 洋	株式会社テレビ朝日 代表取締役社長
理事・評議員	石野 清治	社会福祉法人 同愛記念病院財団 会長
理事・評議員	高橋 利一	社会福祉法人 至誠学舎立川 理事長 法政大学 名誉教授
理事	山崎 哲男	日比谷見附法律事務所 弁護士 東京六本木ライオンズクラブ
理事	岩尾 總一郎	慶応大学医学部客員教授 医学博士
評議員	岩崎 浩三	日本ソーシャルワーカー協会 常任理事 新潟医療福祉大学 客員教授
評議員	松木 康夫	新赤坂クリニック名誉院長 医師
評議員	梅木 孝夫	広友ホールディングス株式会社 代表取締役社長 東京六本木ライオンズクラブ
評議員	宮沢 成実	社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 総務部企画担当
評議員	根本 保	元株式会社ビーエス朝日 常勤監査役
評議員	岸田 晟	社団法人 日本民生文化協会 理事
評議員	香山 敬三	株式会社テレビ朝日 経理局長
評議員	東 ちづる	女優
監事	平田 和子	平田和子税理士事務所 税理士
監事	若穂井 透	日本社会事業大学 福祉マネジメント研究科 (専門職大学院) 客員教授 弁護士

● 特集

● 児童福祉

● 高齢者福祉

● 障がい者福祉

● その他

[ご寄附のお願い]

テレビ朝日福祉文化事業団の活動は、皆様からの寄附によって支えられています。

当事業団へのご寄附は、特定寄附金となります。

個人の場合は所得税の寄附金控除として、法人の場合は法人税の損金算入の対象となります。

また、香典返しの一部を社会福祉事業に、とのお考えをお持ちの方々からのご寄附を承っています。

ご意思のある方はご連絡をいただければ幸いです。

電話 03-6406-2195 FAX 03-3405-3797

なお、ご寄附の方法は下記のとおりです。

[記]

【ご寄附の方法】

● 郵便振替

口座番号 00110-6-761778

口座名（加入者名）「こころの樹」

※通信欄に「寄附金」と記入、事業指定がある場合はご記入ください。

● 現金書留で郵送

〒106-8001 東京都港区六本木 6-9-1

テレビ朝日福祉文化事業団 行

※連絡先を同封してください。領収書をお送りいたします。

● 銀行振込希望の方は、事務局へご連絡ください。

※ 銀行振込希望の方は、事務局（03-6406-2195）へご連絡ください。

※ 当事業団が実施する特定の事業へ指定される場合は、事務局へお問い合わせください。

ご寄附の金額は問いません。

※ ご寄附の用途について

ご寄附は、事業団が実施する児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉他のさまざまな社会福祉事業へ充てさせていただきます。

テレビ朝日福祉文化事業団ホームページ



<http://www.tv-asahi.co.jp/fukushi/>

テレビ朝日福祉文化事業団 事業報告 2012 年度（平成 24 年度） 年報 こころの樹

発行人 阿部幸雄

2013 年（平成 25 年）5 月 10 日発行

社会福祉法人 テレビ朝日福祉文化事業団

〒106-8001 東京都港区六本木 6-9-1 森タワー 16 F

TEL 03-6406-2195、FAX 03-3405-3797

<http://www.tv-asahi.co.jp/fukushi/>

E-mail:fukushi@tv-asahi.co.jp

※文中の役職等は、その時点での表記と致しました。

※無断転載は禁じます。

copyright© tv-asahi welfare foundation All rights reserved